

マンノシルフルクトース-リン酸シンターゼ

Cat. No. EXWM-2475

Lot. No. (See product label)

はじめに

○明

この酵素は、土壤プロテオバクテリアおよび植物病原体であるアグロバクテリウム・チュメファシエンス株C58から得られ、活性にはMg²⁺またはMn²⁺を必要とします。GDP-マンノースはADP-マンノースに置き換えることができますが、活性は同時に低下します。この反応の生成物はEC 3.1.3.79（マンノシルフルクトース-リン酸ホスファターゼ）によって脱リン酸化され、非還元性二糖であるマンノシルフルクトースを形成します。これは、浸透圧ストレスに由じていくつかのα-プロテオバクテリアによって生成される主要な内因性オスモライトです。生成物名のFは、スクロースのフルクトース残基が置換基を持つことを示すために使用されます。

別名

マンノシルフルクトース-6-リン酸シンターゼ; MFPS

製品情報

形態

液体または凍結乾燥粉末

EC番号

EC 2.4.1.246

CAS登録番号

92480-04-1 (not distinguished from EC 2.4.1.167)

反応

GDP-マンノース + D-フルクトース 6-リン酸 = GDP + β-D-フルクトラノシル-α-D-マンノピラノシド 6F-リン酸

備考

このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。お客様の仕様に由じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法

短期保存の場合は+4 °Cで保管してください。長期保存の場合は-20 °C~-80 °Cで保管してください。